

山口県

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定) 応募地区(者) 一覧 (山口県)

No.	選定 地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取組		
①		団体	下関市	王司干潟改良グループ	水産業	復興	食育・教育
②		個人	下関市	中司 武敏(有限会社 司ガーデン代表)	農業	6次産業化	教育機関との連携
③	地方 奨励賞	団体	下関市	山口県立田部高等学校	企業との連携	ジビエ	地産地消
④		団体	山口市	株式会社ときつ養蜂園	6次産業化	環境保全(農林水産業・食品産業)	食育・教育
⑤		団体	山口市	やまぐち木の家ネットワーク	林業	地産地消	環境保全(農林水産業・食品産業)
⑥		団体	岩国市	株式会社神東ファーム	地産地消	移住・定住	食育・教育
⑦	地方 奨励賞	団体	岩国市	株式会社デナリファーム	農業	荒廃農地対策	農福連携
⑧		団体	岩国市	二鹿愛郷会	荒廃農地対策	農村環境・景観保全	関係人口の創出
⑨		団体	長門市	特定非営利活動法人 ゆや棚田景観保存会	6次産業化	棚田保全	農村環境・景観保全
⑩	地方 奨励賞	団体	長門市	本郷集落協定	棚田保全	移住・定住	農村環境・景観保全
⑪		団体	周南市	大道理地区百笑倶楽部	棚田保全	農村環境・景観保全	関係人口の創出
⑫		団体	周南市	棚田清流の会	棚田保全	荒廃農地対策	農村環境・景観保全
⑬	地方 奨励賞	個人	周南市	西川 満希子	農業	伝統の継承	関係人口の創出

応募地区（者）所在市町区（山口県）



おうじひがたかいりょう
王司干潟改良グループ
 竹林を守り 豊かな干潟に！

概要

- 千鳥浜(ちどりひま)は、全国でも有数・山口県最大の干潟で、江戸時代には塩田、昭和の中ごろまでは海苔の生産で繁栄していた。海や干潟という「宝」を子や孫にしっかりと引き継ぎたいという想いにより、平成21年、運営委員長の呼びかけで干潟改良グループを結成し、一昔前のように魚介類がたくさん生息する干潟の復興を目指して活動を開始。現在も地域と共に歩む干潟改良グループという意識で、活動の企画・運営が行われている。

成果

- 小学校との連携を進めている中で、ツメタ貝の駆除は地元の小学校5年生の総合的な学習の題材となっている。
- 地元小学校の海浜(かいひん)学習は、地域の海や干潟を愛する子供を育てるための活動で、この取組が多くメディアに取り上げられ、地域で干潟の重要性の再認識が高まり、他地域からもツメタ貝の生態を詳しく知りたいという問い合わせあり。
- 千鳥復興のための竹立により「竹を伐採・竹林を整備」することで、森林の陽当たりを良くし、地域の生態系を維持している。



伐採した竹の運び出し



干潟への竹立て



小学校との連携 海浜学習

〒752-0915 下関市王司本町6丁目2-28
 083-248-0711 kinder_mana23@outlook.com

なかつかさたけとし ゆうげんがいしゃ つかさ だいひょう
中司 武敏 (有限会社 司ガーデン 代表)
 かぼちゃで遊んで学ぶ 地域イベント開催！

概要

- 保育園から高校生までハロウィンイベントの参加！（高校生は参加者へ指導のための講習会を開催）
- 活動に賛同したJA女性部の方も研修に参加するなど地域外へも輪が広がり始めている。

成果

- イベント開催の準備を保育園から高校生までにお手伝いいただくことにより、子供達にも趣旨を理解してもらっている。小学生は、圃場見学やキャンドル作り体験、中、高校生は、地域活性化に繋がる活動として授業でも学習し、高校生は指導者としてイベントに参加している。
- 保育園や小学校等で行うイベント終了後のカボチャと地元の鯨の廃棄物から作る肥料を使った花いっぱい活動は、人気の活動の一つとなっており、イベントで地域活性化につなげている。



保育園児による廃棄かぼちゃでの花壇作り



JA女性部参加の研修会



地元の小学生参加

〒759-6121 下関市豊北町神田上4905-4
 083-788-1321 e@barasaku.com

関連情報はこちら ▶



地方
奨励賞

やまぐちけんりつたべこうとうがっこう

山口県立田部高等学校

つなぐ・つながる・明日へ 地域貢献と商品開発

概 要

- 地域の特産品や校地内の収穫物を有効活用した商品開発をすることで、地域貢献や地域の活性化につなげることをめざしてきた。ジビエの研究では、地元猟師を講師とした講演で、獣害対策として捕獲された鹿や猪肉の多くが活用されないまま廃棄されていることなどを学び、「鹿や猪の大切な命を多くの人においしく食べてもらいたい！」と考え、獣害対策としてだけではなく、食料自給率の向上やフードロスの削減などSDGsの視点から、牛や豚肉に代わる食肉として、栄養価の高さを切り口としたジビエ肉の普及をめざして更なる研究活動を進めている。



ジビエメンチカツの販売

成 果

- ジビエコロック・メンチカツ等の開発・販売……地元のジビエ肉や加工品の製造販売等をしている「静食品株式会社」の協力の下、冷凍食品として商品化。
- 地域の活性化を目的とした探究活動「きくがわジビエバーガー」の開発販売……「角島OZバーガー」や「道の駅きくがわ」等の協力の下、100食を1時間半程度で販売。
- 地域の課題を自分のこととして捉え、課題の解決に向けて多様な人の意見を取り入れながら、持続可能な取組を行い地域貢献活動を進める。



きくがわジビエバーガーの販売

〒750-0313 下関市菊川町田部1074
083-287-1212 a51150@pref.yamaguchi.lg.jp

関連情報はこちら▶



かぶしきがいしゃ ようほうえん
株式会社ときつ養蜂園
ミツバチに寄り添い命を繋ぐ

概 要

- 農業や化学薬剤、除草剤を一切使用しないケミカルフリー養蜂と循環型農業の実践により、ミツバチにも地球にも人々の健康にも優しい、持続可能な社会づくりを目指している。ミツバチとその周囲の環境を守り整えながら、残留農薬不検出の高品質な蜂蜜の生産、地域の生物多様性の保護に努めている。さらに、地域社会との連携を深め、自然との共生の大切さを伝える教育プログラムを通じて、ケミカルフリーの重要性や循環型農業の重要性を広めている。



人の手が程よく入った里山

成 果

- 地域の農産物を使用した新たな商品開発を行うとともに、農業体験プログラムを通じて、全国の方と繋がり、地域全体の魅力を発信。
- 「人の手が程よく入った里山づくり」をコンセプトに養蜂、タケノコ等の生産販売。
- 築200年の古民家をリフォーム店舗として直売所営業。「はちみつジェラート」のキッチンカーで各地イベント参加。



ミツバチ観光農園の体験

〒753-0303 山口市仁保下郷561-1
083-929-1364 y.tokitsu@beeslife-farm.com

関連情報はこちら▶



き い え やまぐち木の家ネットワーク

未来の子どもたちにも森林資源を！

概要

- 戦後植栽された森林が利用期となり伐採が行われているが、造林費用が森林所有者にとって大きな負担となり、再造林がされない山林が増加している。再造林がされないことにより、「山地災害の防止機能の低下」や「50年後の建築資材の不足」などが懸念される。このことから、川上（原木供給者）、川中（製材・プレカット）、川下（工務店）のグループとして再造林の課題解決として森林所有者の再造林を助成する独自支援制度を創設し、伐って使って植えて育てる森林の循環利用を実践。



成果

- 工務店、プレカット・製材事業者、県森林組合連合会（市場）が「安定供給・利用に関する協定」を締結し、毎月会議を開催するなど、顔の見える関係を維持。
- 助成制度の創設後8年間（平成28年～令和4年）で、177件、247.56haの再造林を支援し、県内の再造林の推進に貢献。
- 令和4年は県産材を利用し、52戸の住宅を新築したことから、572.0t-CO2を固定し地球温暖化に貢献(11.0t-CO2/棟から試算)。



県産材を利用した住宅

〒753-0871 山口市朝田131-1
083-928-5566 soda@topia-i.co.jp



かぶしきがいしゃしんとう 株式会社神東ファーム

マイヤーレモンで郷土愛を育む！

概要

- 人口減少・高齢化により農業が衰退し、耕作放棄地が増加。
- 平成30年8月、神東地域振興協議会が地域おこし協力隊の協力を得て耕作放棄地を再生し、収益性の高い作物（マイヤーレモン）の栽培を構想。摘果レモンの商品化や地元の小中学校での農業学習や給食を通じての普及活動（郷土愛育成）に取り組む。
- 産地である三重県に出向き栽培法を習得し、同協議会の部会として「レモンの会」を発足。その後、各種補助金の支援を受け「レモンの会」を法人化し、（株）神東ファームを設立。

成果

- フォトコンテストの開催、料理研究家考案のオリジナルレシピの公開、摘果レモンを利用した果汁商品の売上を「赤い羽根共同募金」へ寄付するなどの取組がテレビや新聞等に40件以上取上げられ、認知度が向上。販売開始から3年目の令和5年度の売上は445万円に増加。
- 令和6年7月に学校給食の食材として地元岩国市内の小中学校・幼稚園の給食に採用。市内の栄養教諭が来所し、「子どもたちから大変好評であった」と絶賛。



レモンとオレンジの交配種のマイヤーレモン



マイヤーレモン果汁



売上の一部を赤い羽根共同募金に寄附

〒740-1432 岩国市由宇町神東10619-4
0827-63-6036 info@shintou-farm.com

関連情報はこちら ▶



地方
奨励賞

かぶしきがいしゃ

株式会社デナリファーム

耕作面積拡大に農福連携でシナジーを

概要

- 令和元年に元海上自衛官二人で設立。
- 「農業従事者減少や耕作放棄地増加」と「障害者の就労先の問題」の状況を踏まえ、リタイアする農家の農地を借り受けて規模を拡大。人材は定年後の年配者や短時間希望の障がい者雇用で確保し、地域で安定した雇用を創出。

成果

- 自由に働ける枠組みを作るため、16名のスタッフはシフトなしの自由出勤制度。
- 食育・農業従事者を増やすため、若い世代にやってみたい農業をアピールが必要と考え、農業を身近に感じてもらう取組として、子供食堂への食材提供や、地元小学校への苺の差入を行っている。



未耕作地を再生しさつまい芋を定植



収穫コンテナ清掃を就労施設へ作業委託



小学生の課外授業を受入れ

〒740-1432 岩国市由宇町神東1330番地2
0827-93-4037 denalifarm2018@gmail.com

関連情報はこちら ▶



ふたしかあいきょうかい

二鹿愛郷会

「へこたれない」日本一美しい山里

概要

- 二鹿地区は県指定の天然シャクナゲの群生地を始めとし、ホテルや7つの滝等の美しい景観を有しており、地域外から二鹿を訪れる人も多く、景観維持や集落保全を目的に平成22年、設立。
- 集落農地維持のため、農地の実態調査を行い、不在地主と入り作農家との連絡体制を構築し、耕作放棄地の防止に努めている。
- 景観保全活動として、渡り蝶のアサギマダラを誘致するため、休耕田を活用し、フジバカマ園の整備を行っている。

成果

- 活動は、報道でも取り上げられ、集落来訪者数は、平成30年、約5千人であったものが令和6年には約2万人と大幅に増加しており、地域の活性化に繋がっている。
- 会では、どんなことにも「へこたれない」を合言葉に地域一丸となった活動を展開し、会員同士のコミュニケーション作りや、元気の源となっている。
- 耕作放棄地の防止。



幼稚園児がフジバカマ園を訪問



地域の合言葉 へこたれない碑



渡り蝶 アサギマダラ

〒740-0305 岩国市二鹿110番地
0827-29-5114

とくていひえいりかつどうほうじん たなだけいかんほぞんかい
特定非営利活動法人 ゆや棚田景観保存会
 ときめく棚田大作戦

概要

- 長門市油谷後畑地域は、急傾斜農地が広がる棚田地域で、その景観は「全国棚田百選」にも選定されている。しかしながら、高齢化・過疎化の進行により耕作放棄地が年々増え続け、棚田景観の維持・保全が困難な状況となっている。
- こうした中、長門市棚田保護条例が制定され、地域での6次産業やグリーンツーリズムの取り組みの機運の盛り上がりをきっかけに本団体は設立され、棚田再生、米粉やハーブによる6次産業化、棚田景観の観光活用等による地域活性化に向けて取り組んでいる。



草農地再生：棚田の花段



夕涼み棚田マルシェ



商品開発：ワンちゃんハーブボール

成果

- 再生した棚田の特徴を生かし、無農薬無肥料の自然環境に適合したハーブを入植。クラフトジン（蒸留酒）やハーブティー、クラフトビールの原料としても使用。
- 収穫したハーブの農産物供給促進に繋げるため、令和3年度から棚田マルシェを開催。今年度は、棚田クイズラリーやわんちゃん芋掘り大会、シャボン玉アーティストのシャボン玉体験やハーブティー作りなど開催し、地域の活性化に貢献。
- 収穫したハーブを使った飲食店の営業を創めたことで、週末は多くの観光客が立ち寄り、地域の賑わいや活力創出に繋がった。

〒759-4711 長門市油谷後畑1766番地
 0837-32-2056 yuya-tanada@hot-cha.tv

関連情報はこちら ▶



地方
奨励賞

ほんごうしゅうらくきょうてい

本郷集落協定

棚田PR活動と水田放牧による棚田保全

概要

- 当組織は、長門市向津具半島の中心に位置し、急傾斜の棚田を多く有する地区で平成12年から活動している。当地域において大きな課題となっていた耕作放棄地の増加や担い手不足に対して、協定に参加している若手の畜産農家数々が、棚田の景観保全や耕作放棄地を未然に防ぐための水田放牧や、一度耕作放棄地となった農地を復旧する取組みに力を入れている。

成果

- 草刈サミットの開催（令和3年から毎年、現在3回開催）や県外のイベントで棚田米の販売、市内のマラソンイベントでロールアートの展示等を通じた棚田のPR活動にも取組み、地域内外への棚田の認知度向上や関係人口の増加に繋がっている。
- 見ても楽しめる景観形成を目的とした法面への桜の苗木の植樹を行ったり、法面の草刈りで刈った野草をロールにして発酵させ、牛のための保存食として野草のサイレージを作るなど新たな取組みも行い、農地の保全及び景観形成に大きく寄与している。



草刈りサミットの様子



ロールアートの展示



地域の運動会でのロール転がし競走

〒759-4623 長門市油谷向津具下4004番地
 0837-23-1140

おおどおりちくひやくしょうくらぶ
大道理地区百笑俱樂部
 行ってみたい住んで良かった芝桜の里

概 要

- 平成19年1月、高齢化と急こう配で膨大な田圃法面の管理・草刈り作業等の省力化を目的に、大道理地区農家6戸で立ち上げた「百笑俱樂部」を前身とし、地区内外の協力を得て、平成24年に同俱樂部を組織化。現在は、会員21名と協力者25名で活動。
- 草刈りの手間を省くために張った防草シートに芝桜を植栽。
- 平成23年から芝桜の開花時期には、芝桜祭りを開催している。



小学生と防草シートに芝桜を植栽

成 果

- 芝桜の植栽は、農地保全や景観保全に繋がっているだけでなく、地元住民の結束力も高めている。
- 年々拡大した芝桜は（10万本/1万㎡）、花色を活かした模様や絵文字となるよう、キャリアデザイン専門学校生にデザインを依頼。その美しさは口コミなどで知る人が増え、来場者は年々増加し、都市住民との交流の場となっている。
- 芝桜祭りでは、特産物を販売するなど、農業者の所得向上にも繋がっている。



芝桜アート

〒754-0242 周南市大道理1127
 0834-88-1519 y-kanehira443@hotmail.co.jp



たなだせいりゅう かい
棚田清流の会
 くらしがいをみつけられる郷づくり

概 要

- 平成13年に発足以来、非農家を含めた近隣5集落全住民を会員として活動。
- 休耕田の草刈り作業などの農地・景観の保全、農業体験や「棚田サポーターズクラブ」設立などによる都市部住民との交流など、様々な取組を実施。地域活性化に取り組む。
- 地域特産品の加工・販売をすることで地域住民の所得向上にも取り組んでいる。



耕作の卵吉のない、すり鉢状の棚田

成 果

- 小学生親子の農業体験交流、中学生職場体験、フォトコンテスト等を開催し、四季を通じ農村と都市部の交流を積極的に行うことで、地域の魅力発信や地域活性化に繋がっている。
- ドライブスルー型マルシェやまつりでは、棚田で生産された棚田米や杵つき餅の販売等を行い、農家の所得向上にも寄与。
- ビアガーデンやモルック体験会など、地域住民の健康維持や世代を越えた交流を継続的に実施。



農業体験交流会

〒745-0511 周南市大字中須北784
 090-5698-6521 gats.ishida@icloud.com

関連情報はこちら ▶



地方
奨励賞にしかわ まきこ
西川 満希子

新行事食を創出で地域を元気に！

概 要

- 野菜ソムリエの活動を通して自ら「ヤサイコトバ」を考案、地元山口県の県花である夏みかんを「母への感謝」とすることで、母の日に夏みかんを贈り感謝を伝える新たな習慣を創出。地域資源である夏みかんの次世代への継承と地域活性化に取り組む。
- 夏みかんの魅力を広め購買意欲を高めるため、イベントを積極的に開催したり、SNSやメディアを活用して効果的に情報発信するなど、21社の協賛企業と連携し活動している。

成 果

- 夏みかんのヤサイコトバ「母への感謝」を使い、協賛企業と連携して、萩夏みかん及びその加工品の販売促進キャンペーンが行われ、認知度向上や消費拡大に成功し、地域資源の有効活用と山口県への観光誘致にもつながった。
- 子供食堂での夏みかんの配布、レストランでの夏みかんデザートの提供イベントのほか、200回を超えるSNSへの投稿、ラジオやテレビのキャンペーン告知による情報発信を通じて萩市の魅力の再認識、新習慣の創出など地域の活性化にも大きく貢献。



キャンペーンPOP



子供食堂でのキャンペーン



ポップを活用した販売

〒745-1131 周南市戸田1864-1
090-6838-0309 makiko.nishikawa1@gmail.com

関連情報はこちら ▶

